	淀川水系流域委員会「提言」	矢作川流域（意見まとめ）
4-4 利水計画のあり方	(1) 精度の高い水需要予測 (2) 節水・再利用・雨水等の利用 (3) 用途変更 (4) 環境流量 (5) 水需要管理協議会 (6) 順応的な水需要管理	明治用水・枝下用水・矢作川用水
4-5 河川利用計画のあり方	(1) 基本的な考え方 (2) 水域利用 (3) 水陸移行帯利用 (4) 高水敷利用 (5) 堤外地の解消・不法占拠の排除等 (6) 産業的な利用 1) 舟運 2) 漁業 3) 砂利採取 (7) 河川利用にかかわる諸権利について	河川敷公園（豊田市）（岡崎市） 水辺の楽校事業（岡崎市）
4-6 ダムのあり方	ダムは、自然環境に及ぼす影響が大きいことなどのため、原則として建設しないものとし、	男川ダム計画・上矢作ダム計画
4-7 他省庁との連携 関係団体、自治体、	新たな河川整備計画の策定過程、策定後、およびその事業を進めるにあたり、河川管理者は、水利権者、府県、市町村のほか、環境省、農林水産省、厚生労働省、経済産業省等の関係省庁と進んで協議し、	
4-8 住民参加のあり方	(1) 情報の公開と共有 1) 情報の公開 2) 情報の共有 (2) 住民との連携・協働 1) 住民団体・地域組織等との連携 2) 河川・環境学習の推進	
4-9 淀川河川整備計画策定・推進にあたっては、関係構築 淀川河川整備計画策定・推進にあたっては、関係構築	(1) 河川整備計画策定時 1) 情報公開と共有 2) 住民との連携・協働 (2) 河川整備計画策定後 1) 情報の公開と共有 2) 住民との連携・協働 3) 計画の継承・確認のための機関の設置	

淀川水系流域委員会はここまでやりました／矢作川もがんばりましょう